

会員の皆様へ  
「法人化に向けて」

会員の皆様におかれましては、日頃より本会の運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、私が理事長に就任いたしまして、早一年が過ぎました。理事長就任時に所信表明として10の提案を掲げ、学会ホームページや昨年度総会時に述べさせて頂きました。

この一年間の理事長職を通じて、「歯科基礎医学の発展」と「社会が求める歯科基礎医学」に必要な学会活動を常に模索し、「若手研究者の支援」や「学術大会の企画充実」から先に着手をさせていただいているところでございます。

本会は、他の学会に類を見ない6つの専門分野からなり、歴代の諸先輩により今まで築き上げられてきた実績のある学会であります。しかし、今日の歯科界の現状を顧みましても再考の時にすでに来ている感があります。このため、歯科医学会の基盤学会である本会が節目である55周年を境にして率先して新しい出発をする好機であるともいえます。よって、これを可能にする組織づくりが必要であると皆様に提案いたします。

この提案を進めるにあたり、6分野の強みを生かして「バイオサイエンスを発進する学会」「外から見てもらえる学会（信用やクオリティが客観的に評価される）」「歯科基礎医学の学問領域の発展に寄与する学会」「臨床へ情報を発信出来る学会」を目標に掲げ、法人化を改めて検討することといたしました。

現在は、会員となる各研究者の信頼や実績が学会の礎であります。法人化にあたっては、学会そのものが法人格という人格を持ち、社会的な信用を積み重ねることができ、将来の研究者が歯科基礎医学会の名のもとに社会的な活躍を発信する基地としても期待できます。さらに、内閣府から諸学会宛の通知があり、本会におきましても財政規模からして健全な会計収支報告を税務署申告することが望ましいと、法人化についての検討を指摘されていることから、法人化の動きは時代の流れであります。

つきましては、本年4月に法人設立準備委員会を立ち上げ、法人設立に向けた検討を重ねてまいります。その骨子は本年度9月に開催されます総会で法人設立趣意書と法人定款案として提示し、協議事項として会員の皆様にお諮りいたしますので、何卒宜しくお願い申し上げます。本総会で法人設立準備のご承認を頂きましたら、直ちに法人登記に向けた作業を進めさせて頂きます。

何卒、今回の本件の趣旨をご理解賜りご協力を宜しくお願い申し上げます。

平成25年5月1日

歯科基礎医学会  
理事長 大浦 清

